

多職種研修ワーキンググループ -各機関より実務レベル担当を推薦-

推薦団体

- 東部医師会
- 県薬剤師会東部支部
- 県社会福祉士会
- 県介護福祉士会
- 県介護支援専門員連絡協議会
- 市社会福祉協議会
- 県作業療法士会
- 県病院協会東部支部
- 東部地域医療連携協議会
- 行政（地域包括支援センター）

委員の職種

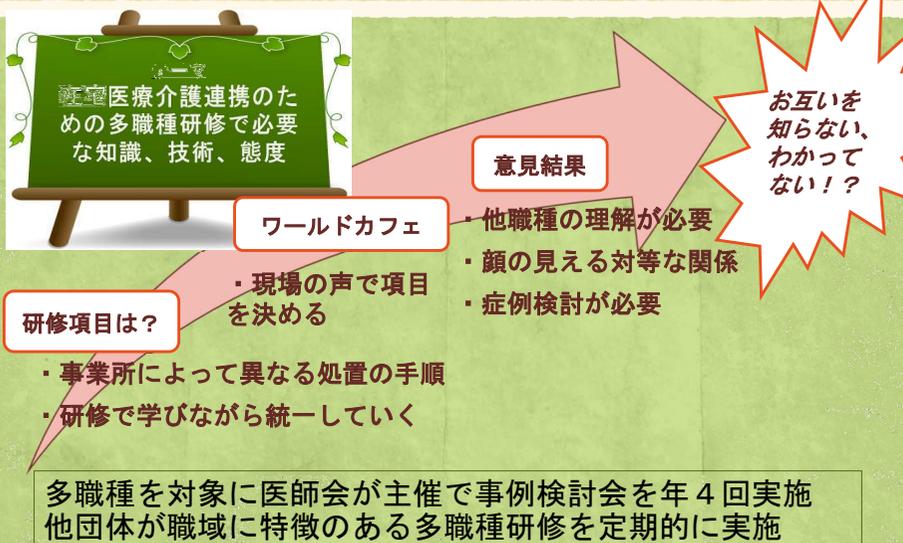
- 医師
- 薬剤師
- 看護師
- 主任介護支援専門員
- 作業療法士
- 保健師
- 社会福祉士・精神保健福祉士
- MSW
- 介護福祉士
- 相談員

多職種研修ワーキングの活動

2015年度	2016年度	2017年度
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多職種研修の現状把握 ◆ ファシリテーター育成研修 ◆ 地域包括ケア多職種向けの資料作成 ◆ 住民、専門職向け講演会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ワールドカフェで研修項目抽出 ◆ ファシリテーターフォローアップ・育成研修 ◆ 多職種研修実施に向けて準備 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多職種研修を3回シリーズで開始 ◆ ファシリテーターフォローアップ・育成研修 ◆ 多職種向けの講演会を予定

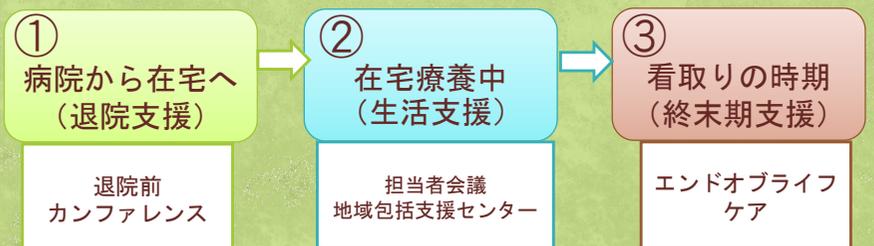


地域包括ケア専門職“絆”研修 ～仲間同士、知る・つながる・高め合う～

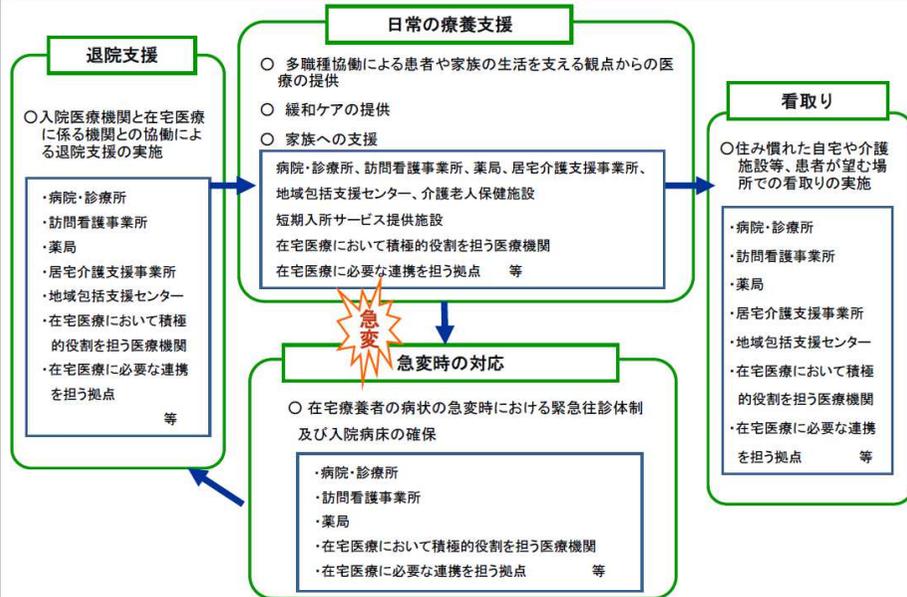


在宅医療・介護連携推進室 多職種研修WG -多職種研修プログラム-

- 目的： 在宅療養を支援するための多職種による知識向上と意見交換
住民の利益を考えた効果的な多職種連携
- 内容： 多職種連携強化のための研修に特化したプログラム
病いの軌跡を通じ、その人の人生に対するそれぞれの専門職の役割を理解する
- 対象： 医療介護福祉関係者（初学者向け）
医師、看護師、薬剤師、ケアマネ、歯科医師、歯科衛生士、
リハビリ、栄養士、介護士、ヘルパー、福祉関係者、行政職等



在宅医療の体制



厚生労働省医政局指導課 在宅医療推進室 在宅医療・介護あんしん2012 資料より

